

森林

# レンジャー がゆく

(25)

## 奥山の謎

その日は天気がよかったので、以前から気になっていた怒田畑洞穴の探索に行こうと決めました。この洞穴は小宮地区にある小さな洞穴で、金比羅尾根近くにある岩場に存在していることも分かっていたので、機会があれば調査をしてみました。長い間思っていました。宝沢林道から登って、少し大回りをしましたが、林

道から馬頭刈尾根の山並みや新緑の景色を楽しみながら、周辺の森の状況も確認できました。渡って来たばかりのオオルリやセンダイムシクイなどの夏鳥がきれいな鳴き声で私に元気を与えてくれました。また、キビタキのオスが、非常にきれいな黄色と黒のコントラストの姿を見せてくれました。

しばらく進むと、いつの間にかヤマザクラ、モミ、コナラなどの大きな木が生い茂る深い森に入ってしまった。この辺は、以前からクマが出没することを知っていたので、出会えるかもしれないと思い、急いでカメラの準備をしました。

そして、石灰岩が露出した岩場に出ました。水の音、風の匂い、足元から伝わる感覚、全てが最高でした。

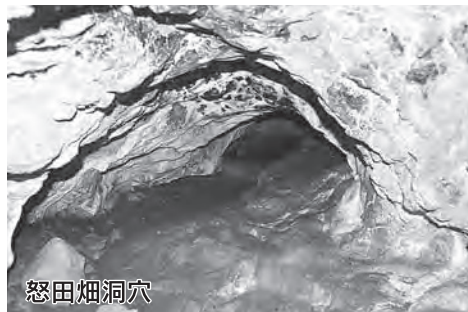
広い範囲で確認できる様に仲間と別れ、岩場を下り始めました。数分後、佐々木レンジャーの呼ぶ声が聞こえたので、彼のもとへ向かってみると、木の洞の中でハクビシンが子育てをしていました。

観察もそこそこに、本来の目的である洞穴の探索に戻りました。岩場を少し下ると、そこに入口がありました。洞穴は横穴で全長25メートル程度ありましたが、天井の高さは1メートル以下で歩きづらく、外の森とは別世界でした。糞などの痕跡から、

洞内はいろいろな動物が利用している場所であることも分かりました。

この様な洞穴がまだあきる野の山に隠れていると思います。次の探索はどこに行こうかと検討しています。

(パブロ)



怒田畑洞穴